

janog44

サイバーセキュリティBoF

#5 振り返り

事前準備内容

- 用語集などとてもよかったと思います。(寺岡)

→用語集は継続してアップデートしていけるといい

- 資料系は時間に余裕もありよくできていたと思う(安部)
- 会場の設営に関しては時間に対してよくできていた
- 会場に参加者が無線LAN接続可能かを確認しておけばよかった
- 事前準備のスケジュールがちょうどよくできた
- 参加者に記入してもらったのはアイデアとしてよかった。あとはWi-Fiがなかったのも効果測定ができていない所を次回継続して試してみたい

アンケート内容についての反省と評価

- 事前アンケートは割と回答を得られたと思います。新規さんとかが多かったイメージも(寺岡)
- 前回の反省を生かして参加回数を含めたのはよかった。理由についても聞けるとなおよい気がした(安部)
- 新規の方が多いので、意外性や新奇性ネタに走らず、今後も伝えたいこと、知ってもらいたいこと、聞いてみたいことを扱っていくのが良さそう(山下)

会場の様子



当日内容についての反省と評価

- スプレッドシートの書き込みもちらほらあったのでwifiがあればもう少し書き込みがあったかもしれません。アンケートをもう少しピックアップしたかったですねー。時間との兼ね合いなので難しいところですが(寺岡)
- 各業務とかやっている内容について伝えることができたのではないだろうか
- Twitterにハッシュタグを作って投稿をしてくれたりと内容もよかったのでは
- 甲府の時のほうが熱気があった。今回も聞いてもらえている感があった→BoFとしてなりたったのだろうか？(議論するという意味で)
- 何を望んできているかを確認するのもあり

事後アンケートからの反省と評価

- アンケートのお願いを先にするなり早めにしておけばよかった
- アンケート回答時間を設けておくともっと回答率が上がった？
- 事後アンケートを先に出しておくといいかもしれない

当日の進行・会場運営・分担についての反省と評価

- 最後の時間調整(アンケートの時間)が反省点
- 会場準備に関してはスムーズにいった
- マイク使わず立ってやるスタイルはよかった(後ろのほうは聞きにくい?)
→前に来てもらえるようにする
- 参加者からのリアクションがない時に次に進む判断が難しかった
→内容がつまらないということとはなかっただろう。話す機会を減らしてしまった可能性はある(アンケートで確認ができるとよい)
- 一回目の人が多い場合は発言を振る必要がある(話しやすい雰囲気醸成)
- 始まるまでは入口あたりで席の誘導をする人がいてもよい
- 議事メモ役は必要

全体通しての評価

- もっと会場とのコミュニケーションを増やしたい、狙ってやってもなかなかうまくいかない、難しい。コミュニケーションをとるための挑戦は継続してしていきたい。
- 登壇者同士の話は盛り上がったのでその点はよかった
- JANOG本家のアンケートも待ちましょう(8月下旬に公表されるはず)
- 事前アンケートより、初回参加の方が多いとわかった。今後も継続することで注意喚起や事例紹介の価値があるとわかった。
- 通常プログラムだと同じ内容何度も繰り返しできない。bofだからできる。

「JANOGでBoFをやる」事についての評価

- 幅広い事業者にリーチできる
- 内容次第ではあるが初回参加の方が多いことがわかり、普及活動（注意喚起）として意義があるといえる
- 参加者の層とテーマが一致していると思う。ほかの場所ではこうはいかないと思う
- 通常プログラムだと同じ内容何度も繰り返しできない。bofだからできる。
- JANOGは若手の参加者が多いので知ってもらえる機会となるのでよい
- 社内の人間に、他社の人と話している姿を見せることができるのはいい
- 社内の人がいても同業他社の話を聞いてもらえるのはいい
- 継続して行っていきたい！
- 外の人から意見をもらうためにもオープンな場で話をすることは必要である

それぞれ登壇者・参加者の個人評価 - 今後に向けて

- 個人的にもっと前向きな発言をすればよかったと反省している。Abuse窓口のコストについての話がくどかったかも(松中)
- 参加者の皆さまに話してもらえるようなファシリテーションをできるようにしていきたい(安部)
- 参加をしてくれる組織を増やしていきたい。登壇をしたことがない人を呼び込めるとなおい(開催地の地元企業とか?)
- 参加していない立場としてNOTICE話出来ると面白いかもしれない